

東京都アーティスティックスイミングマスターズルーティン大会 2022

追加要項

1 競技について

- (1) 本大会は「FINA MASTERS RULES 2017-2021」および本大会要項に則り実施する。
FINA新ルールに伴い変更となる場合は、(公財)東京都水泳協会ホームページにて告知する。
- (2) 出場順は、11月14日(月)までに各団体へメールにて配信する。
- (3) 競技の棄権届、メンバー変更届の提出は所定の用紙に記入の上、本部席の所定の場所に提出すること。
各競技開始の2時間前までに提出しなければならない。第2グループで入場する団体で競技開始2時間前に間に合わない場合は、監督者会議時に提出すること。
- (4) 表彰は行わない。競技結果は、大会終了後に各団体へメールにて配信する。

2 監督者会議について

- (1) メインプール本部席にて9:40より実施する。

3 健康管理表兼参加同意書について

- (1) 健康管理表兼参加同意書(様式 A-05)は、各団体にてホームページよりダウンロードして出場選手および引率者に配布すること。A4サイズ用の紙にプリントアウトすること。
- (2) 健康管理表兼参加同意書は、全ての入場者において提出を必須とする。入場受付に提出すること。

4 登録団体用健康確認票(兼誓約書)について

- (1) 登録団体用健康確認票(兼誓約書)(様式 T-03)は、各団体にてホームページよりダウンロードし、A4サイズの用紙にプリントアウトすること。
- (2) 各団体の代表者が必要事項を記入の上、入場受付に提出すること。
- (3) (公財)日本水泳連盟あるいは(一社)日本マスターズ水泳協会に登録している団体は、「団体登録番号」を記入すること。

5 ADカードについて

- (1) ADカードは各団体にてホームページよりダウンロードして、出場選手および引率者に配布すること。
A4サイズの用紙にカラーでプリントアウトして4分割すること。
- (2) 選手ADは選手1名につき1枚とし、必ず記名すること。
- (3) 引率ADは1団体1枚の基本ADに加え、出場選手5名につき1枚追加できる。
- (4) 引率ADは団体スタッフに限り使用できる。選手の家族や友人などへの使用は禁止する。
- (5) ADカードは記名されている選手または引率者専用とし他者への流用は認めない。
- (6) 会場内では常時ADカードを携帯すること。
- (7) ADカードを収納するケースは各自用意すること。折らずに収納できるサイズを使用すること。
- (8) 大会当日の体温と体調を必ず記入すること。「その他の症状」欄が未記入の場合は「無し」とみなす。
- (9) 退場時にクラブごとにまとめてADカードを退場受付に提出すること。
- (10) ADカードは参加団体の責任において規定に則り発行すること。

6 入退場について

- (1) 入退場の場所は「警備室入り口」とする。
- (2) 会場への入場時刻は競技時間に記載の入場時刻とする。指定時刻以前に入場することはできない。
- (3) 入場を待つ間はマスクを着用し、密集しないよう対人距離を保つこと。

- (4) 入場の手順は以下のとおりとする。
- ①ADカードチェック
 - ②検温（出入口）
 - ・検温器で計測する。
 - ・37.5℃以上を計測した場合は、救護担当の指示に従うこと。
 - ③健康管理表兼参加同意書提出
 - ・記入漏れがないか事前に確認すること。
 - ・健康管理表兼参加同意書は、あらかじめ手元に用意しておくこと。
 - ④入場許可スタンプ
 - ・ADカードに許可スタンプを押印する。ADカードはケースから取り出しておくこと。
 - ⑤登録団体用健康確認票（兼誓約書）提出
 - ・各団体の代表者が受付に提出する。
- (5) 入場手順のいずれかに問題がある場合は、救護担当者の判断により入場を許可しない場合がある。
- (6) 途中で退場した場合、再入場はできない。
- (7) 退場時にクラブごとにまとめてADカードとロッカー券を退場受付に提出すること。
- (8) 本大会は無観客で実施する。親族および一般観覧の入場はできない。

7 控え場所について（別紙「会場図」参照）

- (1) 控え場所はメインプール・ウッドデッキとする。指定区域外への立入りを禁止する。
- (2) 間隔をあけて座り会話は控える。マスクを着用すること。
- (3) 控え場所では必ず敷物を使用すること。敷物類は兼用せず、各自で持参すること。

8 更衣室について

- (1) 女性はサブプール男女更衣室を使用する。どの更衣室を使用するかは、会場図を参照すること。男性はメインプール男子更衣室を使用する。
- (2) 入場時にロッカー券を配布する。大きな荷物はロッカーに保管し、ウッドデッキには必要最小限のもののみ持ち込むこと。
- (3) 髪上げを行う選手はレジャーシートを持参し、広げたくて髪上げを行う。髪やゼラチン・ピン類で床を汚さないこと。
- (4) 更衣室ではマスクを着用し、大声での会話は控えること。
- (5) 更衣室の床は滑りやすく危険なため、水で濡れたらこまめに水分をふき取ること。
- (6) 当日、サブプールでは一般遊泳や自主事業を行っている。サブプール更衣室とメインプールの移動の際は、サブプール利用者の迷惑にならないように注意すること。
- (7) メインプールの女子更衣室は使用できない。ただし、複数種目に出場する選手が競技間に水着を着替える場合のみ、メインプールの更衣室の使用を認める。
- (8) 競技後は片付けを徹底する。ゼラチンを洗面所やシャワーに流さないで持ち帰ること。その他のゴミもすべて持ち帰る。
- (9) 競技後、食事や休憩をとるため会議室1・2に移動する際、サブプール更衣室の荷物は全て持って出ること。競技後、サブプール更衣室の使用はできない。クリニックから閉会まで、大きな荷物は会議室1・2に置き、プールには貴重品と必要最小限のものを持ち込むこと。
- (10) 閉会後は、女性は会議室1・2、男性はメインプール男子更衣室にて更衣をおこなうこと。
- (11) ロッカー券は、退場時にクラブごとにまとめて退場受付に返却すること。

9 練習について

- (1) 競技時間に記載のとおり実施する。状況によって変更する場合があるので、係員の指示に従うこと。
- (2) 練習中の荷物は、クラブごとにまとめてウッドデッキに置いておくこと。荷物やマスクは他人のものと混同しないように、クラブ名・氏名を明記した袋などに入れて保管する。
- (3) コーチによる大声を出しての指導は禁止する。

- (4) コーチはマスクをしていない選手との会話では、マスクに加えフェイスシールド、またはアイガード・ゴーグルを着用し、目からの飛沫感染も防ぐこと。
- (5) 競技中は、競技外エリアの電光掲示板寄りウォーミングアップとクーリングダウンのみ行うことができる。技の練習などは控えること。
- (6) ランドリルは、マスク着用の上、声を出さずに距離を取って行うこと。

10 招集、動線について (別紙「会場図」参照)

- (1) プールサイドの移動は、会場図の動線(矢印←→)に従うこと。
- (2) 自分の出場順の2番前の選手がスタートしたら、第1招集所に集合すること。
- (3) 第1招集所に集合する際はマスク、ADカードを着用し、第2招集所ではずしてコーチに預けること。マスクは他人のものと混同しないように、クラブ名・氏名を明記した袋に入れて保管する。
- (4) 招集所では私語は禁止する。
- (5) コーチは2名まで招集所に帯同可とするが、声を出しての指導は禁止する。
- (6) 演技中、コーチはコーチ席に待機すること。選手の演技後は速やかにマスクを渡すこと。
- (7) 出場時のみ、該当クラブは会場図に記載の所定の場所で撮影を可能とする。

11 会場内での食事について

- (1) 会場内では、感染症予防の観点から原則食事を禁止する。
- (2) 競技終了後、クリニックまでの間の時間は、会議室1・2にて待機し、食事や休憩をとること。サブ更衣室の荷物は全て持って出ること。
- (3) 食事中は以下の注意事項を厳守すること。
 - ①食事中は会話をしないこと。
 - ②十分な対人距離を確保すること。
 - ③他者と取り分けをしないこと。
 - ④ゴミは必ず持ち帰ること。

12 感染症拡大予防について

- (1) 「感染予防ガイドライン水泳大会アーティスティックスイミング競技」および「競技会参加時の新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する注意事項および誓約事項」を熟読の上、厳守すること。
- (2) 上記に従わない場合、係の指示に従わない場合は退場処分とする。
- (3) 大会会場内のみならず、往復の移動や日常生活においても感染症予防に努めること。

13 その他

- (1) プールサイドは室内履きに限り使用を認める。土足を入れる袋を各自で用意すること。
- (2) 貴重品は各自の責任において管理すること。
- (3) 事故、怪我などの無いようクラブにおいて十分注意すること。
- (4) 会場内の設備、備品等を破損した場合は、所属団体の責任において弁償すること。
- (5) 会場内外での所属ミーティングは禁止する。
- (6) こまめな水分補給を心掛けること。ペットボトル、水筒などは専用のものを使用し、他者と共有しないこと。
- (7) 大会後7日以内に「新型コロナウイルス感染症」を発症した場合、またはその疑いが生じた場合は、速やかに東京都水泳協会に報告すること。
- (8) 悪天候・自然災害または感染症流行により大会が中止になった場合および自己または主催者の判断で出場取消となった場合でも申込金は返金しない。

14 問い合わせ先

公益財団法人東京都水泳協会 03-5422-6147 (平日 10時~17時)
大会当日の連絡先 090-1613-3002 小川みゆき

以上